

## 2014 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 6 日作成)

|                              |  |                                |                                |
|------------------------------|--|--------------------------------|--------------------------------|
| 小委員会名                        | 音環境規準検討小委員会  |                                | 主 査 名：古賀 貴士<br>就任年月：2014 年 4 月 |
| 所属本委員会<br>(所属運営委員会)          | 環境工学委員会<br>(音環境運営委員会)  |                                | 委員長名：田辺 新一<br>主 査 名：岡野 利行      |
| 設 置 期 間                      | 2014 年 4 月 ～ 2015 年 3 月  |                                |                                |
| 設 置 目 的<br>各年度活動計画<br>(箇条書き) | <p>・本小委員会は、今後順次制定していく音環境規準について、次の事項を遂行することを目的とする：作成・改訂する音環境規準の検討・決定／作成・改訂スケジュールと体制の検討・決定／遮音性能規準の考え方等全体に影響を及ぼす事項の検討／WG による音環境規準 WD の作成・改訂／企画刊行運営委員会移行後のフォロー／作成に関する全体マネジメント</p> <p>・本年度は、以下の項目を活動項目とする：音環境規準全体のグランドデザインの検討／集合住宅に関する規準・指針についてのフォロー／新規 AIJES の取り組みに関する議論</p> |                                |                                |
| 委員構成<br>(委員名 (所属))           | 委員公募の有無：無し   |                                |                                |
|                              | 主査：古賀 貴士 (鹿島建設)<br>幹事：池上 雅之 (大林組)、平光 厚雄 (国土技術政策総合研究所)<br>委員：井上 勝夫 (日本大学)、岡野 利行 (竹中工務店)、佐久間哲哉 (東京大学)、清水 寧 (東京工業大学)、田端 淳 (大成建設)、佐藤 洋 (産業技術総合研究所)、羽入 敏樹 (日本大学)、濱田 幸雄 (日本大学)、平松 友孝 (音・環境研究所)、福地 智子 (永田音響設計)、宮島 徹 (清水建設)、吉村 純一 (小林理学研究所)                                      |                                |                                |
| 設置 WG<br>(WG 名：目的)           |  |                                |                                |
| 2014 年度予算                    | 25, 000 円  | ホームページ公開の有無：なし<br>委員会 HP アドレス： |                                |

| 項 目                                       | 自己評価   |
|---|--|
| 委員会開催数                                    | 6 回 (年度内計画を含む)   |
| 刊行物<br>(シンポジウム資料等は除く)                     |  |
| 講習会                                       |  |
| 催し物<br>(シンポジウム・セミナー等)<br>*能力開発支援事業委員会承認企画 |  |
| 大会研究集会                                    |  |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等                        |  |
| 目標の達成度<br>(当初の活動計画と得られた成果との関係)            | 1. 建築学会大会において、オーガナイズドセッション「音環境に関する規準・指針の体系と今後」を実施<br>2. 集合住宅に関する規準・指針についてのフォロー |
| 委員会活動の問題点・課題                              | 規準・指針の在り方について、今一度コンセンサスを得る時期に来ているようである。今後、適切な時期に、シンポジウム、公開討論会等の開催が必要と考えている。    |

## 2015 年度 小委員会活動 自己評価

### (最終年度評価)

|  |  |
|--|--|
| <p>総合評価<br/>(4段階評価)</p>                  | <p>A</p>   |
| <p>総合評価に関する<br/>自由記述欄<br/>(理由、特記事項等)</p> | <p>1.音環境規準全体のグランドデザインの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築学会大会において、オーガナイズドセッション「音環境に関する規準・指針の体系と今後」を実施した。3件の発表があり、電子化へ向けた要望など、今後の音環境規準のあり方等について、フロアからも活発な意見が得られた。</li> </ul> <p>2.集合住宅に関する規準・指針についてのフォロー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境工学本委員会から提示された <b>AJES</b> 作成フローの改訂案について議論し、刊行形態等についての課題点を整理した。</li> <li>・今後、重点的にデータを収集し検討すべき3項目について、それぞれ、固体音小委員会、集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会、建築音響測定法小委員会に検討を依頼した。</li> </ul> <p>3.新規 <b>AJES</b> の取り組みに関する議論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議論を進めている。成果については、現在検討中の <b>AJES</b> 作成フローの改訂の進捗と、それに応じた集合住宅 <b>AJES</b> 案の刊行形態によるところも大きい。フロー改訂に併せ、今後、継続して議論していきたい。</li> </ul> |

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。